

耐震診断の結果の見方(「耐震診断の結果」と「附表」の関係)

「耐震診断の結果」と「附表」を用いて「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性」を確認することができます。

耐震診断の結果								
No.	建築物の名称	建築物の位置 (地名地番)	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
	所沢市立 小学校	棟	所沢市 丁目 番地の	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 I_s/I_{so} 値 = 1.23 $C_T \cdot S_d$ 値 = 0.98			$I_{so}=0.75$ として診断 用途指標 $U=1.25$ として診断

耐震診断の結果の耐震診断の方法の名称を
附表から確認します。

安全性の評価の結果と附表の区分を比較することで危険性
について確認することができます。
(当該結果の場合、 に該当し「危険性が低い」となります)

附表		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
耐震診断の方法		(地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。)	(地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。)	(地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。)
		(2)	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_d < 0.15$
		$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_d < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \cdot C_T \cdot S_d$

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示します。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。

耐震診断の結果の備考に記入のない場合は、 $I_{so} = 0.6$ 、 $Z = 1.0$ 、 $R_t = 1.0$ 、 $G = 1.0$ 、 $U = 1.0$ とします。